



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アドバンスト・メディア  
コード番号 3773 URL <http://www.advanced-media.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 清幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 立松 克己

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5958-1031

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	960	12.4	△616	—	△320	—	△324	—
26年3月期第3四半期	854	△3.0	△375	—	△183	—	△165	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △242百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △97百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△20.38	—
26年3月期第3四半期	△10.86	—

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	6,237	5,043	80.0	313.36
26年3月期	6,363	5,279	82.1	328.27

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,991百万円 26年3月期 5,226百万円

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額を算定しています。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	40.4	△200	—	△170	—	△172	—	△10.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)  
特定子会社の異動には該当しておりませんが、株式会社速記センターつくばを連結の範囲に含めております。またTrue Voice Company Limitedを持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	15,929,405 株	26年3月期	15,922,405 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	75 株	26年3月期	42 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	15,927,289 株	26年3月期3Q	15,278,444 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは事業拡大の取り組みとして、「既存コアドメインのさらなる成長」を第一の成長エンジン、「新規ビジネス創生・M&A・海外事業」を第二の成長エンジンと位置付け、これら二つの成長エンジンの駆動で、今後の売上高の飛躍的な増大を実現してまいります。

そのような中、売上高に関しましては、これまで金融セクター中心に導入が進んでいたCTI事業部において、大手の通販会社やガス会社など幅広い事業分野への音声認識ソリューション「AmiVoice® Communication Suite」の導入が進み、全体を牽引しました。また議事録事業部においても民間への議事録作成支援システム販売が好調に推移しました。連結子会社のAMIVOICE THAI CO.,LTD.はTrue Corporation Public Company Limited（以下、True）向けIVRシステムの販売が想定どおり進みました。以上の結果、売上高は前年同四半期実績を上回りました。損益に関しましては、当初に計画した事業拡大の取り組み方針に沿って、積極的な研究開発投資を行った結果、販売費及び一般管理費は前年同四半期に比べ増加いたしました。これらによって、営業損失は前年同四半期と比べ240百万円増加しました。経常損失、四半期純損失に関しましては、当第3四半期連結累計期間において、保有する米ドル建て預金等の為替変動による為替差益270百万円を計上し、当初計画を上回ることとなりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は960百万円（前年同四半期は売上高854百万円）、営業損失は616百万円（前年同四半期は営業損失375百万円）、経常損失は320百万円（前年同四半期は経常損失183百万円）、四半期純損失は324百万円（前年同四半期は四半期純損失165百万円）となりました。

音声事業のうち各分野別の状況は、以下のとおりであります。

#### ① CTI事業部

販売パートナーとの関係強化に努め、従来の金融機関に加えて、小売り・通販・ガス・衛星放送などこれまでとは異なり、幅広い事業分野に「AmiVoice® Communication Suite」の導入を行いました。

#### ② クラウド事業部

株式会社サトーとの共同開発により製品化された物流業界向けのウェアラブル型ボイスピッキングシステム「AmiVoice® iPicking」の販売が本格化いたしました。また、英語教育に特化した「子供英語用音声認識エンジン」を開発し、2015年4月に開講する株式会社ベネッセコーポレーションの小学生向け英語教材「Challenge English(チャレンジイングリッシュ)」に採用されました。

#### ③ 医療事業部

販売パートナーとの関係強化に努め、既存製品の拡販を進めました。放射線科読影レポート向けや調剤電子薬歴向け「AmiVoice® Ex7」を中心に販売を行いました。

#### ④ 議事録事業部

自治体などの公共機関に加え、大手の電力会社や生命保険会社など民間会社に議事録作成支援システムを販売いたしました。また音声認識を活用したクラウド型文字起こしサービス「VoXT」（ボクスト）の利用者拡大に取り組みました。

#### ⑤ 連結子会社等

連結子会社のAMIVOICE THAI CO.,LTD.でのタイ財閥チャロン・ポカパングループ通信大手True向けIVRシステムの導入を契機に、より密接な事業連携を図るべく、Trueグループでコールセンターの受託運営・設置を行うTrue Touch Company Limitedと、当社音声認識技術を活用したシステム開発及び販売のための合弁会社「True Voice Company Limited」をタイ王国に設立いたしました。また株式会社グラモは、スマートフォンで家電を操作できる「iRemocon」の新機種である環境センサーを搭載した「iRemocon Wi-Fi」を一般ユーザー向けにも製品販売を開始いたしました。さらに平成26年8月25日に株式を取得した株式会社速記センターつくばは、VoXT利用者の拡大や音声認識技術を活用した文字起こし業務の効率化とコスト低減に取り組みました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,595百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円増加いたしました。固定資産は1,641百万円となり、前連結会計年度末に比べ187百万円減少いたしました。これは投資有価証券の減少等によるものであります。

この結果、総資産は6,237百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は353百万円となり、前連結会計年度末に比べ127百万円増加いたしました。固定負債は839百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は、1,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,043百万円となり、前連結会計年度末に比べ235百万円減少いたしました。これは四半期純損失324百万円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は80.0%（前連結会計年度末は82.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月9日付で公表した連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、株式会社速記センターつくばの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。また、True Voice Company Limitedを設立したため、持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,800,693	3,702,991
受取手形及び売掛金	539,448	251,901
有価証券	-	462,644
商品及び製品	13,027	28,853
仕掛品	4,448	41,449
原材料及び貯蔵品	16,132	15,492
未収入金	23,519	8,361
その他	138,717	86,955
貸倒引当金	△2,337	△2,834
流動資産合計	4,533,649	4,595,813
固定資産		
有形固定資産		
建物	67,979	77,198
減価償却累計額	△35,171	△36,140
減損損失累計額	△32,807	△32,807
建物(純額)	-	8,250
その他	109,704	137,942
減価償却累計額	△84,750	△84,059
減損損失累計額	△15,230	△14,849
その他(純額)	9,723	39,034
有形固定資産合計	9,723	47,284
無形固定資産		
ソフトウェア	34,723	138,066
ソフトウェア仮勘定	41,201	5,677
のれん	113,525	112,228
その他	-	115
無形固定資産合計	189,450	256,088
投資その他の資産		
投資有価証券	1,111,953	793,836
敷金及び保証金	86,594	86,862
長期前払費用	419,160	410,377
破産更生債権等	226,470	-
その他	12,484	47,018
貸倒引当金	△226,470	-
投資その他の資産合計	1,630,192	1,338,094
固定資産合計	1,829,366	1,641,468
資産合計	6,363,015	6,237,282

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	50,812	43,876
未払金	82,562	81,855
リース債務	67	-
未払法人税等	1,486	8,269
前受金	65,712	111,064
繰延税金負債	-	58,889
その他	25,232	49,677
流動負債合計	225,873	353,632
固定負債		
社債	770,000	770,000
繰延税金負債	80,925	62,489
資産除去債務	7,149	7,246
固定負債合計	858,075	839,736
負債合計	1,083,948	1,193,369
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,969,597	4,973,097
資本剰余金	3,961,731	3,965,231
利益剰余金	△3,851,419	△4,176,095
自己株式	△68	△102
株主資本合計	5,079,840	4,762,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,143	219,191
為替換算調整勘定	878	10,385
その他の包括利益累計額合計	147,021	229,577
新株予約権	52,204	52,204
純資産合計	5,279,067	5,043,912
負債純資産合計	6,363,015	6,237,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	854,561	960,387
売上原価	303,888	348,099
売上総利益	550,672	612,287
販売費及び一般管理費	926,372	1,228,441
営業損失(△)	△375,700	△616,153
営業外収益		
受取利息	5,289	4,527
有価証券利息	9,045	9,001
為替差益	194,758	270,328
雑収入	726	9,927
営業外収益合計	209,820	293,785
営業外費用		
支払利息	16	-
投資事業組合運用損	3,976	3,153
社債発行費	11,480	-
支払手数料	2,530	10,253
雑損失	347	3
貸倒引当金繰入額	△483	△15,531
営業外費用合計	17,868	△2,120
経常損失(△)	△183,747	△320,247
特別利益		
新株予約権戻入益	2,050	-
特別利益合計	2,050	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△181,697	△320,247
法人税、住民税及び事業税	△1,244	4,427
法人税等調整額	△14,469	-
法人税等合計	△15,714	4,427
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△165,983	△324,675
四半期純損失(△)	△165,983	△324,675



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△165,983	△324,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,040	73,048
為替換算調整勘定	20	9,507
その他の包括利益合計	68,061	82,555
四半期包括利益	△97,922	△242,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,922	△242,120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。